

キャッシュカードでも
払えるんです。



J-D Lounge

J-Debit 会報誌 (季刊)

2009 冬 (季刊誌 1・4・7・10月発行)

J-D Lounge は会員の皆様と協議会を結ぶ会報誌として、年4回の発刊を予定しています。

J-Debitについて自由に語っていただくラウンジのような情報誌を目指します。

vol.12

INTERVIEW

特集：「私とカード社会」

**J-Debitは、財布代わりに徹していて、
とてもわかりやすい。**

こういうシンプルなシステムって、すごくいいと思うんだ。

建築家 六角 鬼丈

通りすがりのお店で欲しい本や資料をみつけた時、
クレジットカードだと領収書もらうの忘れちゃう
んだよ。だからどうしても、現金で払ってる。

日本を代表する建築家の一人、六角鬼丈氏。18年前から東京芸術大学の教壇に立ち、現在は美術学部長を務めています。建築家として、教育者として、さまざまな人たちと交流する機会が多い六角氏に、生活のなかでのカードとの関わりや、J-Debitのメリットについてなど、お話をうかがいました。

〈プロフィール〉 六角鬼丈さん

1941年、東京都生まれ。1965年に東京芸術大学美術学部建築科卒業後、磯崎新アトリエ入社。1984年(株)六角鬼丈計画工房開設。1991年から東京芸術大学美術学部建築科教授を務め、2004年から美術学部長に就任。雑創の森学園、東京武道館、富山県[立山博物館]まんだら遊苑など、数々の建築作品を手掛ける一方、著作活動、展覧会、社会活動など多方面で活躍中。



J-Debit を普及させるために例えば「デビットマ いいアイデアじゃないかな。

**飲み会でクレジットカードを出したら、
全額払うことになってしまうでしょ。**

学部長になって5年。それ以前と比べると、ずいぶん忙しくな
ったね。

授業もあるし、大学が独立法人化して運営にも四苦八苦しな
ければならなくなったし、飲む機会も増えたし。



大学の先生というのは、学生たちとよく飲みに行くのだけど、
芸大は特にそういう機会が多いかもしれないな。学生の数が
限られているから、教員は自分の科の生徒について、名前と顔
をみんな覚えている。勉強するにはとても贅沢な環境で、教員
と生徒とのつながりも密接。

その代わりに進級や卒業はシビアで、ちゃんとやってないと
留年することになる。学生たちの評価を大きく左右するのが
「講評会」。作品を評価するために外部から人を呼ぶこともあ
るのだけど、講評会が終わるとたいがい打ち上げ。だから、年
がら年中どこかで打ち上げをやっているような感じだね。

展示会もいっぱいやってるから、オープニングパーティを開く
こともしばしば。飲む機会はたくさんあるんだよね。

問題はお金の出所がないこと。企業のように接待費という枠
がないし、結局、教官学生割り勘で持ち出しになる。

学生達と一緒に飲んで、さあ支払いという時、全額払っていたら
すごい金額になってしまうので、ぼくはカンパという形でお金を出
すわけ。残りは、皆で割り勘にしてくれ…ということだね。

ここでクレジットカード出したら、全額払うことになるでしょ。
それは無理。だから飲みに行ってもクレジットカード使うこと
はほとんどありません。

また職業柄、本や資料もよく買うけれど、通りすがりで欲しい
ものをみつけても、会計を通してしていると時間がかかってし
ょうがない。その場ですぐ欲しいわけだから、とりあえずポケット
マネーで支払う。クレジットカードだと領収書をもらうの忘れて
しまうので、ここでもやっぱり現金払いだね。

**J-Debit を家族にも勧めて、
いっぱい使うようにしようかな。**

使う機会がないというよりも、ぼくは古い人間なのでクレジ
ットカードというものが苦手なんです。

一方キャッシュカードは2枚持っていて、よく使います。デビ
ットカードとして使ったことはなかったけど、いろいろ聞いてみ
ると、J-Debit はいいシステムだと思う。お財布代わりに徹して
いるから、シンプルですごくいい。家族にも勧めていっぱい使
うようにしようかな。

クレジットカードを含めて世の中にはいろんなカードがあるけ
ど、得点主義というのかな…知ってる人だけが得をするサー
ビスが多いでしょ。古い考え方かもしれないけど、そういうの
って、サービスになっていないような気がするんだ。

ポイントをつけるのがいけないといってるわけではなく、つけ
るんだったら全員につけて欲しい。それである程度溜まった
ら、ちゃんと教えてくれて、だまっけていても景品を送ってく
れたらありがたいね。いざ使おうと思っても年末年始はダメとか、
ポイントにいろいろな条件がついているのはどうかと思うな。
これに対して、J-Debit のようなシンプルなシステムは不公平感
がないからすっきりする。もし、J-Debit がポイント制を導入す
るのなら、今のシンプルさを失わないサービスにして欲しいね。

**紛失しても無制限に使われる恐れがない
ってというのは、いいよね。**

不公平感と言えば、クレジットカードってランクがあるでしょ。

「デビットマネー」というような表現を広めていくのも、

プラチナだ、ゴールドだ、ブラックだって。そういうの自慢げにちらつかせる人もいるけれど。ぼく興味ない。

以前、アメリカやヨーロッパに行った時、ゴールドカードでなければ入れてくれないという店があって、入口で拒否されてすごく不愉快な思いをしたことがあるのだけど、ほんとうにこういうのってどうかしてるよね。

いろいろ悪口を言ってしまったけど、海外に行った時はクレジットカードを使う。荷物をいっぱい持って、カバン膨らませて、ポケットもいっぱいというのは邪魔ではないから。それにレイトを計算しながら買い物するのがどうにも面倒くさい。結局ぼくは面倒なのが嫌なんだな。



海外で便利なクレジットカードだけど、紛失するのは怖い。どんな使われ方をするかわからないものね。

ぼく自身は何回も、海外に出かけているけど、カードをなくした経験は今のところまだないね。しまい方とか工夫して旅行しているからね。

J-Debitは、口座に入っているお金しか使うことができないでしょ！それならどこかでカードを落としても、無制限に使われることがないね。やっぱり、いいシステムだと思うなあ。

ぼくもそうだったのだけど、デビットカードという響きは、キャッシュカード以外に他のカードがあるように聞こえるじゃない。

い。そういう誤解をしている人もまだいると思うので、J-Debitを普及させるために、例えば「デビットマネー」というような表現を広めていくのもいいんじゃないかな。

現金とカードの垣根を取り払えたら、面白いかもしれないね。

芸大には、美術学部には絵画科、彫刻科、工芸科、デザイン科、建築科、先端芸術表現科、芸術学科があって、音楽学部には、作曲科、声楽科、器楽科、指揮科、邦楽科、楽理科、音楽環境創造科がある。いろんな分野の芸術活動が行われているのだけど、芸大で教えるようになって、学内があまりにも縦のつながりばかりが強いのことを、ずっと感じてきた。

科を超えたつながりが、ほんとに希薄。

教授同士がもっと話す機会がなければ、学生の交流だって進まないだろう。

そこで、「POST 芸大を考えよう」というキャッチフレーズをかかげて、教員同士ぎっくばらんに話し合う機会を何回か作ったんです。夕方6時から8時まで昼間学食だったところを解放して、ビールは持ち込みで。カフェのようなイメージかな。

科という垣根、大学と社会の垣根、日本と世界の垣根、そういうものを全部取り払って自分たちを捉えていかないと、芸術活動の方向性だってわからないでしょ。

今日もこれから、いろんなところで飲み会があるのだけど、こういう動きって大切だと思うんだよ。

J-Debitも、現金とカードの垣根を取り払うようなものだから、動きとして面白いかもしれないね。

富山県立山博物館
まんだら遊苑



株式会社イーオン・イースト・ジャパン

授業料のお支払いにJ-Debitを利用。 今後はキャンペーン展開も視野に。



1973年に創立した英会話スクールのイーオン。他のスクールに先駆けて、外国人教師の採用拠点を海外に開設したり、電話、インターネット、IP電話等を活用した英語教育システムを時代に応じて立ち上げるなど、「生徒様の満足」を第一に考える姿勢を貫き、安心して学べる環境づくりにこだわり続けてきました。創立から35年、グループ全体での教室数は、320カ所以上にのぼっています。「生徒様のニーズに真摯に応える」という企業理念をもつイーオンが、いつどのような形でJ-Debitを導入し、現在どのように利用されているのか。今回は特別に、イーオン・イースト・ジャパン代表取締役社長の三宅義和氏に、お話をうかがうことができました。

● **お支払いの約5.6%がJ-Debit利用。
年々割合が増えている。**

J-Debitを導入したのは2000年の春。2001年1月から直接加盟店になりましたので、かなり早い時期から利用してきたこととなります。イーオン・イースト・ジャパンだけではなく、全国の教室で一斉採用しました。

決済システムが複数あるほど生徒様の利便性が高くなるわけですから、導入することに迷いはありませんでした。会社の創立当時は、授業料を学校に現金で持ってきていただくことも多かったのですが、現在ではセキュリティ等の関係から、原則として学校窓口には現金を置かないことになっています。

授業料のお支払いは、銀行等からの現金によるお振込、カードによるお支払い、カードローンでの分割お支払いなどが主になっています。現金によるお支払いは、お支払い全体の約20%あり、そのうちの5.6%がJ-Debitのご利用によるものです。2003年のデータを見るとJ-Debit利用は5.1%ですから、年々割合が増えていますね。



● **手数料のメリットを考え、
J-Debit利用促進キャンペーンを行いたい。**

イーオンの授業料は年間10万円台から40万円以上、講座によってさまざまです。平均は23～24万円。1年分をまとめてお支払いいただくシステムになっています。データを見ると、10万円台、20万円台でのお支払いはJ-Debit、現金、クレジットカードと多様ですが、高額になるほどクレジットカードによる分割が増えているようです。

全国のイーオンにおけるJ-Debit利用状況を見ると、中部エリアと九州エリアでJ-Debitの利用割合がかなり高くなっています。これはおそらく社内的に、J-Debitの利用促進を図った成果ではないでしょうか。

窓口での支払い時に手数料がかからないということは、生徒様にとって大きなメリットです。一方私たちにとっても、クレジットカードに対してJ-Debitの割合が増えると、手数料の割合が減るわけですから、直接利益増加に結びつきます。このようなメリットを考慮して、イーオン・イースト・ジャパンでも、今後J-Debit利用促進キャンペーンをぜひ行いたいと思います。

社会人の生徒様の場合、退社後イーオンに来て、授業が終わるのが夜9時頃という方も大勢いらっしゃいます。それから来期授業の契約をする場合も多々あります。夜9時以降でも全銀行のJ-Debitが使用できればありがたいですね。

2008(平成20)年度の取引概況

2008年度の取扱件数は1,244万件(前年比8.0%増)、取引金額は7,717億円(前年比0.5%増)と共に前年を上回り、特に件数は月間平均100万円の大台を初めて達成いたしました。各種電子マネー等の少額電子決済が普及しつつある中、さらに最近の世界的経済危機の影響を受けつつも堅調に推移いたしました。この金額・件数増加の牽引力となっているのが特に生命保険業界、そして損害保険業界です。生保・損保業各社は携帯型決済端末を全国配備する方向にあり、既に4万台以上の端末にてJ-Debitの利用を積極的に進めるとともに、全国隅々までの認知度向上に貢献いただいております。

2008年度業種別取引実績をみると、金額・件数ともに家電小売業界の第1位は不動ですが、金額では生命保険業が第2位に躍進し、件数では百貨店が第

2位となっています。さらに今後が注目される業種が中古車小売業であり、J-Debitの即時かつ高額決済可能の特性を活かし中古車オークションに利用して大幅に件数・金額が伸びています。

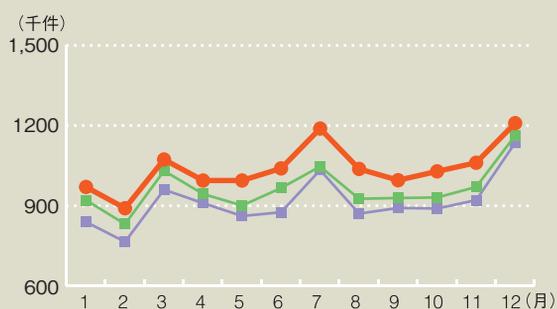
また、情報処理センター(間接加盟店)全体の件数が同約13%増、金額が前年比約3%増と順調に伸びています。特に間接加盟店の取引件数は全件数の過半数(52%)を占めています。

2010年3月の全国サービス開始10周年に向け、2009年度は、件数・金額ともに拡大基調を堅持すべく積極的に活動してまいります。

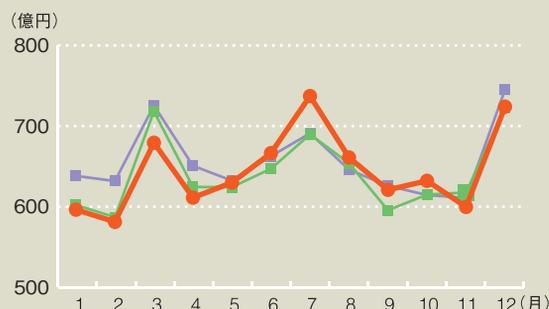
J-Debitサービスは、現在、4.1億枚以上のキャッシュカードが32万ヵ所以上の店舗等(このうちICキャッシュカード対応端末は既に2万台超)において利用可能な状況ですが、2009年はさらに拡大が期待されます。

●月間利用実績の推移 (● 2008年度実績 / ■ 2007年度(参考) / ▲ 2006年度(参考))

取扱件数



取扱金額



規約等改定について(ゆうちょ銀行の全銀システム接続、会員資格変更)

本年1月5日より、ゆうちょ銀行が全銀システムに接続され、全国の金融機関との口座間で相互に振込ができるようになりました。次の段階として、ゆうちょ銀行がJ-Debit決済を全銀システムを介して直接的に行う仕組みが今年の春以降(別途ご報告)に開始予定です。

このJ-Debit決済開始日を施行日として右記の関係する規約等が改定され、ゆうちょ銀行が特別会員から金融機関正会員へ資格変更され、ゆうちょ銀行カードの代行決済が廃止されるとともに、ゆうちょ銀行カードの通信実費が有償化されます。

従来、ゆうちょ銀行の場合のみ通信実費(取消処理、残高確認処理時に発生します)が無償でしたが、今後は有償に変更されますため、日々の取引明細の通信実費を自ら計算している直接加盟店様や情報処理センター様においては、プログラム等の修正が必要となりますことから事前の準備をお願いいたします。

改定規約等一覧：

- (1) 会員規程
- (2) 加盟店規約
- (3) 加盟店登録規程
- (4) 情報処理センター規程
- (5) 理事会規程
- (6) 金融機関決済規約
- (7) 金融機関決済規約細則
- (8) 金融決済委員会細則

J-Debit は、さらに一歩上を目指します!

● 役員のご紹介(2009年1月から任期2年)

日本電子決済機構の新年度役員(法人名)をご紹介します。

株式会社 NTTデータ (理事)
 株式会社 ゆうちょう銀行 (理事)
 株式会社 みずほ銀行 (理事)
 株式会社 ジェイティービー (理事)
 株式会社 ミレニアムリテイリング (理事)
 株式会社 三菱東京UFJ銀行 (理事)
 株式会社 三井住友銀行 (理事)
 住友信託銀行 株式会社 (理事)

社団法人 全国地方銀行協会 (理事)
 株式会社 千葉銀行 (理事)
 社団法人 第二地方銀行協会 (理事)
 社団法人 全国信用金庫協会 (理事)
 全国信用協同組合連合会 (理事)
 社団法人 全国労働金庫協会 (理事)
 農林中央金庫 (理事)
 合同会社 きょうと情報カードシステム (理事)

東京都個人タクシー協同組合 (理事)
 株式会社 ビックカメラ (理事)
 三井住友海上火災保険株式会社 (理事)
 株式会社 ジェーシービー (社外理事)
 堀総合法律事務所 (社外理事)
 NTTデータネット株式会社 (常任理事・事務局長)
 株式会社 NTTデータ (常任理事・事務局副事務局長)
 株式会社 損害保険ジャパン (監事)

冬キャンペーン告知

ご利用者へのキャッシュバックを行う冬のトクトクキャンペーンは1月31日までです。残りわずかですが、お客様への周知をお願いいたします。

J-Debit トクトクキャンペーン '08 冬

- プレゼント内容

A がっちり現金コース	B 人気のおとりよせグルメコース
1等…… 10万円×20名	1等…… 5万円相当×50名
2等…… 3万円×40名	2等…… 3万円相当×50名
3等…… 1万円×100名	3等…… 1万円相当×100名
- キャンペーン期間…… 2008年12月1日(月)～2009年1月31日(土)
- 応募締切…… 第1回目: 2008年12月31日(水)
 ※ハガキでの応募は1月5日(月)当日消印有効
 第2回目: 2009年1月31日(土)
 ※ハガキでの応募は2月3日(火)当日消印有効



総額1000万円! デビット王様から、BIGなプレゼント!
J-Debit使ってトクトクキャンペーン! '08冬
 2008年12月1日(月)～2009年1月31日(土)

この冬は1000万円相当のプレゼント!

5000円以上デビットカードを毎月利用したお客様で現金またはグルメコースをプレゼント!

A がっちり現金コース	B 人気のおとりよせグルメコース
1等 100,000円×20名	1等 50,000円相当×50名
2等 30,000円×40名	2等 30,000円相当×50名
3等 10,000円×100名	3等 10,000円相当×100名

※各コースの抽選は利用された方に、さらに抽選でデビット王子オリジナル副賞カード(1000円分)を1000名様にプレゼント!!

応募条件
 キャンペーン期間中、J-Debitに毎月1回以上利用金額が1000円以上(税込)入った一回のご応募が必要です。(※1回1000円未満)

応募方法
 応募書用紙(ハガキ)またはお電話(携帯電話)にてご応募ください。キャンペーン専用応募書用紙(ハガキ)は、各J-Debit加盟店の店頭で配布されています。お電話の場合は、各J-Debit加盟店の店頭で配布されている応募書用紙(ハガキ)またはお電話にてご応募ください。

応募期間
 第1回→2008年12月31日(水) ※ハガキでの応募は1月5日(月)当日消印有効
 第2回→2009年1月31日(土) ※ハガキでの応募は2月3日(火)当日消印有効

J-Debitの詳しい情報はオリジナルサイト「J-Debit王様」へ
 デビット王様

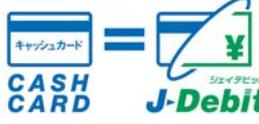
パソコン・携帯電話・専用ハガキ・郵便ハガキでご応募できます

- 空メールを送信していただくご応募できます。
jpcp@debitcp.jp
- パソコンでもご応募できます。
www.debitoji.com
- 携帯電話の対応機種をお持ちの方は、右のバーコードからアクセスしてご応募ができます。




会員の皆様からの J-Debit に関するご質問や本誌に掲載して欲しい内容等、ご意見をお待ちしています。電話、FAX、メールなどでお気軽にお寄せください。

キャッシュカードでも払えるんです。



CASH CARD = J-Debit

日本デビットカード推進協議会 事務局
 〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-2 NTTDATA 大手町ビル 10F
 TEL: 03-3243-0781
 URL <http://www.debitcard.gr.jp/> メールアドレス: info@debitcard.gr.jp
 月～金 9:30～18:00 (振替休日・12月29日～1月3日は除く)